

日本人学生の言語評価

—神奈川大学で行った予備調査に基づいて—

宮本大輔

0.はじめに

本論文は日本人大学生の言語評価に関するものであり、日本人大学生が心中に持つ各国言語に対するイメージのステレオタイプを明らかにすることを主な目的としている。

日本では方言イメージを扱った研究は数多く存在しているものの、他の国の言語イメージを扱った学術的研究は少ない。例として大谷（1996）や吉村（2003）を挙げることができる。大谷の調査では、調査項目の内容が明らかではなく、また、調査結果の一部しか公開されていない。そこで、筆者は吉村が行った言語観調査を参考とし、言語評価調査を行った。

以下に本調査の結果の一部を示す。(1) 日本人学生が各国言語に対して持つイメージのステレオタイプの一端が明らかとなった。(2) 日本語はアジア語群に含まれるが、インフォーマントの母語であるためか、そのイメージは同じアジア語群に属する中国語や韓国語に対するものとは全く異なる。(3) 言語に対する興味の有無は、その言語を好きか否か、うるさいと感じるかどうか、早口だと感じるかどうかに影響を及ぼす傾向にある。

但し、本論文は今回実施した調査のインフォーマントについてのみ言及するものである。

1. 先行研究

泉（1953）は、東京都民344人に対して面接法による調査を実施し、彼らが朝鮮人、中国人、フィリピン人、インド人、インドネシア人、タイ人、ミャンマー人（調査当時はビルマ人）、ベトナム人、アメリカ人、イギリス人、フランス人、オーストラリア人、ドイツ人、イタリア人、ロシア人、黒色人種（泉（1953）ではニグロ人）という16集団に対して持つイメージのステレオタイプを探ることを試みた。その結果、東京都民がアメリカ人、イギリス人、フランス人、ドイツ人に対して持っていたイメージのステレオタイプは、外見から見れば「立派」—「清潔」、民族性の点では「親切」—「愛想がよい」—「丁重」、政治的には「日本のためになる」、国際経済上からはフランス・ドイツ人を除いて「日本のためになる」、文化に対する評価は「高い」—「親しみやすい」であった。

また、泉（1953）には、調査によって得られたデータに基づいて算出した人種距離指数が示されている。これによると、アメリカ人、イギリス人、フランス人、ドイツ人の一群が最も近い距離にあり、黒色人種、朝鮮人、ロシア人、オーストラリア人、フィリピン人の一群が最も遠い距離にあることが分かる。

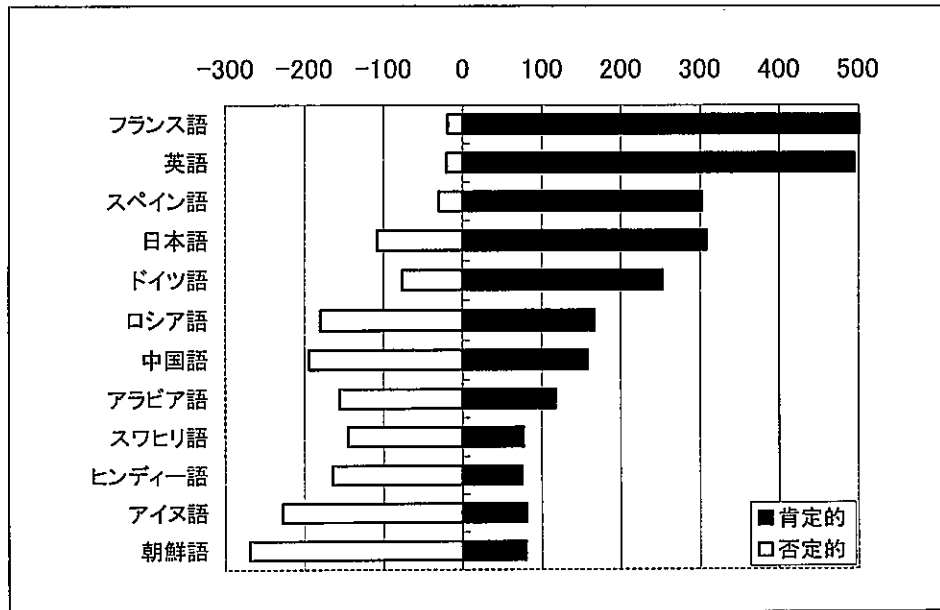
表1 人種距離指数

	総平均	男	女	職業別			
				商業	工業	公務団体等	無職
朝鮮人	12.5	12.5	12.5	13.9	13.5	12.1	12.6
中国人	9.8	9.7	9.9	9.8	11	10.2	10.9
フィリピン人	10.9	10.8	11	10.9	11.3	10.7	11.3
インド人	6.7	6.3	7.4	9.6	7.2	6.7	7.8
インドネシア人	9.7	8.3	10	10.5	10.2	9.4	10
タイ人	7.6	7.4	7.8	7.9	7	7.4	7.8
ミャンマー人	8.9	8.9	8.9	9.3	8.2	9.1	8.7
ベトナム人	10.3	10.8	9.5	7.6	11.5	10.3	9.8
アメリカ人	3.4	3.9	2.6	4.2	1.7	4.3	2.5
イギリス人	4.3	4.5	3.9	4.7	4.4	4.4	4
フランス人	4.1	4.4	3.7	4.1	5.7	4.3	3.7
オーストラリア人	11.5	11.5	11.4	11.5	11.4	11.6	11.2
ドイツ人	4.8	4.7	5	4.3	5.8	4.7	4.9
イタリア人	6.5	7.1	5.7	6.5	8.4	7.1	6.7
ロシア人	11.8	11.3	12.5	12.3	13.9	11.4	12.6
黒色人種	12.6	12.6	12.5	12.2	14	12.9	12.8

(泉 1953 : p.430)

吉村（2003）は、広島県内の私立大学生337名（女性78名、男性225名、性別記入無し34名）を対象とし、諸言語に対する大学生のイメージに関する調査を実施し、その調査結果に基づいて国際理解教育における英語教育の役割について論じている。調査対象言語は、アイヌ語、アラビア語、英語、スワヒリ語、スペイン語、中国語、朝鮮語、ドイツ語、日本語、ヒンディー語、フランス語、ロシア語の12言語である。調査項目として、肯定的イメージ／否定的イメージの対をなす合計20の形容表現を設定しており、前者を+1点、後者を-1点として集計している。その結果は下図の通りである。これによると、英語やフランス語を先頭に、西洋語群は肯定的なイメージが強いのにに対し、アジア、アフリカの言語群は否定的なイメージが強くなっていることが分かる。但し、インフォーマントの母語である日本語はアジアの言語でありながら、ドイツ語と同程度の好印象を持たれている。

図1 各言語の肯定的イメージと否定的イメージ（実数）



(吉村 2003 : p.48より)

2. 研究概要

2.1 調査地点及び調査対象

神奈川県において実施した言語評価調査の調査実施地点と調査機関、調査対象及びその年齢構成については、以下の通りである。

調査地点：神奈川県

調査実施期間：2007年6月20日～7月12日

調査対象：神奈川県 171名

年齢構成：18～22歳

表2 インフォーマントの構成

	総数	性別		学科			
		男性	女性	中国語	英語英文	国際文化交流	現代ビジネス
人数	169	59	110	72	55	22	20
割合	100%	34.9%	65.1%	42.7%	32.5%	13.0%	11.8%

調査対象は18～22歳の学部生及び大学院生であるため、本章の調査結果はこの年齢及び学歴を反映していると考えられる。表2の通り、インフォーマントは中国語学科、英語英文学科、国際文化交流学科、現代ビジネス学科の中国語学習者である。但し、中国語学科の学生は専門科目として、その他の学科の学生は第二外国語として学んでいる。学科によってそれぞれの言語に対する評価に何らかの影響が現れることも予測された。しかし、中国語学科の学生が中国語を、英語英文学科の学生が英語を評価するのの際して、他の言語よりもわずかにプラスに評価していたことを加味しても、学科の違いは言語評価に大きな影響を及ぼしていないと言える。

2.2 調査内容

調査には、選択式の調査票を配布・回収する留置法を用い、インフォーマントの言語評価の実態を調査した。評価項目として、(a) 上品、(b) 優しい、(c) 柔らかい、(d) 歯切れがよい、(e) 細やか、(f) 実用的、(g) 美しい、(h) カッコいい、(i) 好き、(j) 都会的、(k) 静かに聞こえる（グラフ中では静か）、(l) うるさく聞こえる（グラフ中ではうるさい）、(m) 温かい、(n) 早口、(o) 好ましい、(p) 軽快の16個を設定した。そして、それぞれの項目に①強く思う、②少し思う、③普通、④余り思わない、⑤全くそう思わないという5つの選択肢を用意した。①を5ポイント（以下ptと表記する）、②を4pt、③を3pt、④を2pt、⑤を1pt、無回答は0ptとして集計している。そのため、原則的には、3pt以上の数値を示した場合にはプラスイメージ、3pt未満の数値を示した場合にはマイナスイメージとなる。ただし、(l) うるさく聞こえるは、否定的評価語であるため、反転項目となる。

そして、調査対象言語はインフォーマントの母語である日本語（共通語）、国連の公用語から日本人には馴染みが薄いと思われるアラビア語を除いた英語、中国語、フランス語、スペイン語、ロシア語、そして近年、韓流などによってインフォーマントが触れる機会が多いと思われる韓国語の7つとした。

3.分析結果

3.1 全体像

表3 各言語の評価項目ごとの序列

上品		優しい		柔らか		歯切れが良い	
フランス語	4.22	日本語	3.66	日本語	3.78	英語	3.82
日本語	3.55	フランス語	3.58	フランス語	3.61	スペイン語	3.6
英語	2.97	ロシア語	2.82	ロシア語	2.84	中国語	3.45
スペイン語	2.92	スペイン語	2.78	スペイン語	2.66	韓国語	3.41
ロシア語	2.92	英語	2.67	英語	2.64	ロシア語	2.95
韓国語	2.45	韓国語	2.59	韓国語	2.54	フランス語	2.69
中国語	2.37	中国語	2.29	中国語	2.33	日本語	2.61
細やか		実用		美しい		カッコいい	
日本語	3.62	英語	4.18	フランス語	3.97	英語	4.22
フランス語	3.17	日本語	3.52	日本語	3.57	フランス語	3.82
ロシア語	3	中国語	3.21	英語	3.4	スペイン語	3.71
スペイン語	2.96	スペイン語	3.1	スペイン語	3.15	ロシア語	3.13
韓国語	2.96	韓国語	3.08	ロシア語	3.04	中国語	2.95
英語	2.93	フランス語	2.76	中国語	2.79	日本語	2.85
中国語	2.89	ロシア語	2.7	韓国語	2.68	韓国語	2.82
好き		都会的		静かに聞こえる		うるさく聞こえる	
日本語	4.04	英語	3.93	日本語	3.44	中国語	4.01
英語	3.82	フランス語	3.35	フランス語	3.4	韓国語	3.42
中国語	3.44	スペイン語	3.04	ロシア語	2.87	スペイン語	3.34
フランス語	3.17	日本語	2.96	スペイン語	2.45	英語	3.22
スペイン語	3.15	ロシア語	2.7	韓国語	2.43	ロシア語	2.78
韓国語	2.97	韓国語	2.67	英語	2.26	日本語	2.38
ロシア語	2.79	中国語	2.65	中国語	1.92	フランス語	2.35
温かい		早口		好ましい		軽快	
日本語	3.7	中国語	4.53	日本語	3.53	英語	3.93
フランス語	3.24	英語	4.15	英語	3.39	中国語	3.59
スペイン語	2.98	韓国語	3.73	フランス語	3.21	スペイン語	3.4
韓国語	2.94	スペイン語	3.63	中国語	3.19	韓国語	3.14
ロシア語	2.82	ロシア語	3.2	スペイン語	3.09	フランス語	3.08
英語	2.76	フランス語	3.05	韓国語	3.01	ロシア語	2.95
中国語	2.69	日本語	2.72	ロシア語	2.9	日本語	2.9

表3は、各評価項目において各言語が獲得した評価ポイントを平均化し、評価項目ごとに序列したものである。

インフォーマントの母語である日本語は、「優しい」「柔らか」「細やか」「好き」「静かに聞こえる」「温かい」「好ましい」において1位、「上品」「実用」「美しい」において2位、「都会的」において4位、「かっこいい」「うるさく聞こえる」において6位、「歯切れが良い」「早口」「軽快」において7位という評価順位を示している。

次に、現在、世界共通語としての役割を果たしている英語は、「歯切れが良い」「実用」「かっこいい」「都会的」「軽快」において1位、「好き」「早口」「好ましい」において2位、「上品」「美しい」において3位、「うるさく聞こえる」において3位、「優しい」「柔らか」において5位、「細やか」「静かに聞こえる」「温かい」では6位という評価順位を示している。インフォーマントには英語英文学科の学生が含まれており、彼らが他の学生に比べると英語をプラスに評価する傾向にある。したがって、英語英文学科以外の学生のデータによるならば、上記の評価順位は多少下がることになる。具体的には、「細やか」における評価順位は6位となる。

そして中国語は、「うるさく聞こえる」「早口」において1位、「軽快」において2位、「歯切れが良い」「好き」において3位、「好ましい」において4位、「かっこいい」において5位、「美しい」において6位、「上品」「優しい」「柔らか」「細やか」「都会的」「静かに聞こえる」「温かい」では7位という評価順位を示している。但し、インフォーマントには中国語学科の学生が含まれており、彼らが他の学科の学生に比べると幾分か中国語をプラスに評価する傾向にある。そのため、中国語学科以外の学生のデータによるならば、上記の評価数値は幾分低下することになる。具体的には、「歯切れが良い」において4位、「実用」「好ましい」において5位、「美しい」「かっこいい」において7位と順位が一つ或いは二つ落ちる。例外として「細やか」においては順位が二つ上がっている。

フランス語は、「上品」「美しい」において1位、「優しい」「柔らか」「細やか」「かっこいい」「都会的」「静かに聞こえる」「温かい」において2位、

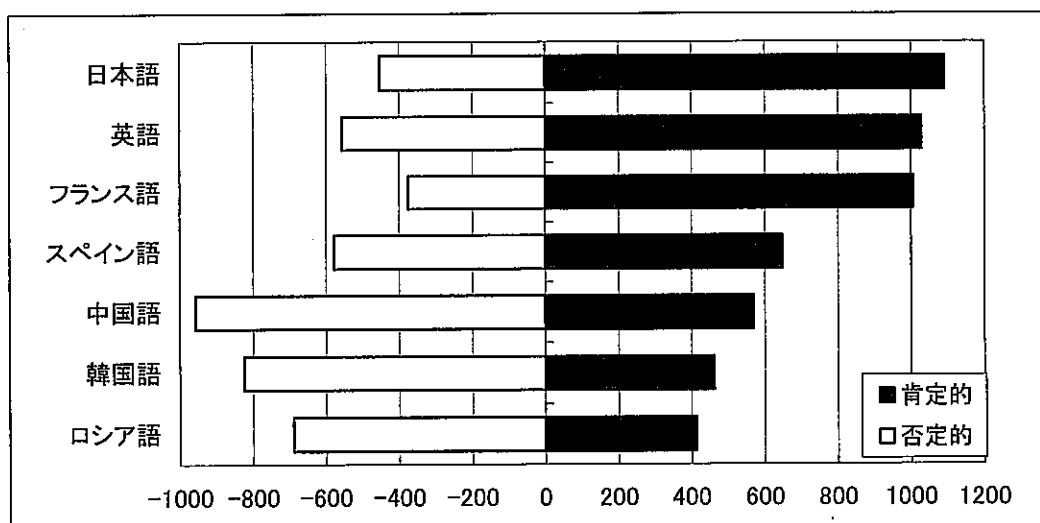
「好ましい」において3位、「好き」において4位、「軽快」において5位、「歯切れが良い」「実用」「早口」において6位、「うるさく聞こえる」において7位という評価順位を示している。

スペイン語は、「歯切れが良い」において2位、「カッコいい」「都会的」「うるさく聞こえる」「温かい」「軽快」において3位、「上品」「優しい」「柔らかい」「細やか」「実用」「美しい」「静かに聞こえる」「早口」において4位、「好き」「好ましい」において5位という評価順位となっている。

ロシア語は、「優しい」「柔らかい」「細やか」「静かに聞こえる」において3位、「カッコいい」において4位、「上品」「歯切れが良い」「美しい」「都会的」「うるさく聞こえる」「温かい」「早口」において5位、「軽快」において6位、「実用」「好き」「好ましい」において7位という評価順位を示している。

最後に韓国語は、「うるさく聞こえる」において2位、「早口」において3位、「歯切れが良い」「温かい」「軽快」において4位、「細やか」「実用」「静かに聞こえる」において5位、「上品」「優しい」「柔らかい」「好き」「都会的」「好ましい」において6位、「美しい」「カッコいい」において7位という評価順位を示している。先に示した中国語と共に、「上品」「優しい」「柔らかい」「細やか」「美しい」「カッコいい」「都会的」「静かに聞こえる」という評価項目において、下位を占めている。

図2 各言語のイメージ (実数)



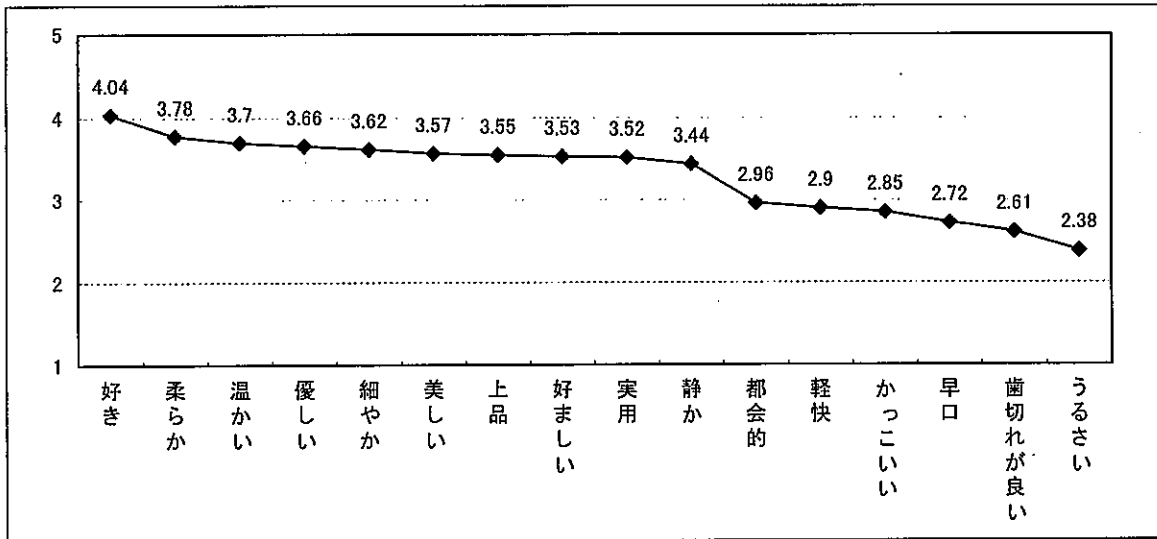
次に、図2は、インフォーマントが各評価項目で、それぞれの言語について①②と回答した場合を肯定的イメージ、④⑤と回答した場合を否定的イメージとして集計したものである。但し、評価項目「静かに聞こえる」の反義語である「うるさく聞こえる」及び肯定的とも否定的ともとれる「早口」のデータは除外した。

図2を見ると、肯定的なイメージが最も強いのはインフォーマントの母語である日本語であり、最も弱いのはロシア語であることが分かる。先行研究で示した吉村(2003)によると、肯定的イメージが強い言語としては、フランス語をはじめとして、英語、スペイン語、日本語、ドイツ語、ロシア語となっており、日本語を除けば西洋語群が挙げられている。逆に肯定的イメージが弱い言語としては、中国語、アラビア語、スワヒリ語、ヒンディー語、アイヌ語、朝鮮語といったアジア、アフリカ諸語が挙げられている。これを本研究の結果と比較してみると、フランス語や英語、スペイン語が高い評価を得ており、中国語や朝鮮語が低い評価を下されているという点では変わらない。だが、日本語が1位となり、ロシア語が最下位となっているという点で異なっている。

但し、否定的イメージの弱さで序列すると、フランス語、日本語、英語、スペイン語、ロシア語、韓国語、中国語のようになり、インフォーマントがフランス語に対して否定的なイメージを持っていないことが分かる。

3.2 言語ごとの評価

図3 日本語のイメージ



日本人大学生の心中に存在する日本語のステレオタイプの評価は図3のようになる。インフォーマントの母語であるため、当然といえるかもしれないが、「好き」という評価項目においても極めて高い数値を示している。

大谷（1996）によれば、大谷氏が昭和36年以来実施している日本人学生の言語志向に関する調査の「もしも生まれ変わることができるのであれば、何語を母語に選びたいか」という質問項目における日本語の選択率は回を重ねるごとに上昇している。具体的には以下に示した通りである。

表4 日本人学生の言語志向の変遷

	日本語	英語
昭和36年	14%	69%
昭和46年	30%	54%
昭和56年	42%	42%
平成7年	45%	36%

(大谷 1996より作成)

昭和36年当時は英語が日本語を大幅に上回っていた。だが、10年後の昭和46年には英語が15%減少し、日本語は16%上昇している。更に10年後の昭和56年の調査では、英語と日本語が同率となっている。これは日本が先

進国宣言をした翌年であった。そして、平成7年には英語が更に下降を続けるのに対し、日本語は上昇を続け、英語の数値を上回っている。

図2において、日本語は肯定的イメージの強さで英語を上回り、1位となっている。これを表4で示した日本人学生の言語志向の変遷と照らし合わせると、日本人の日本語志向は2007年の現在も続いていることが分かるのではないだろうか。

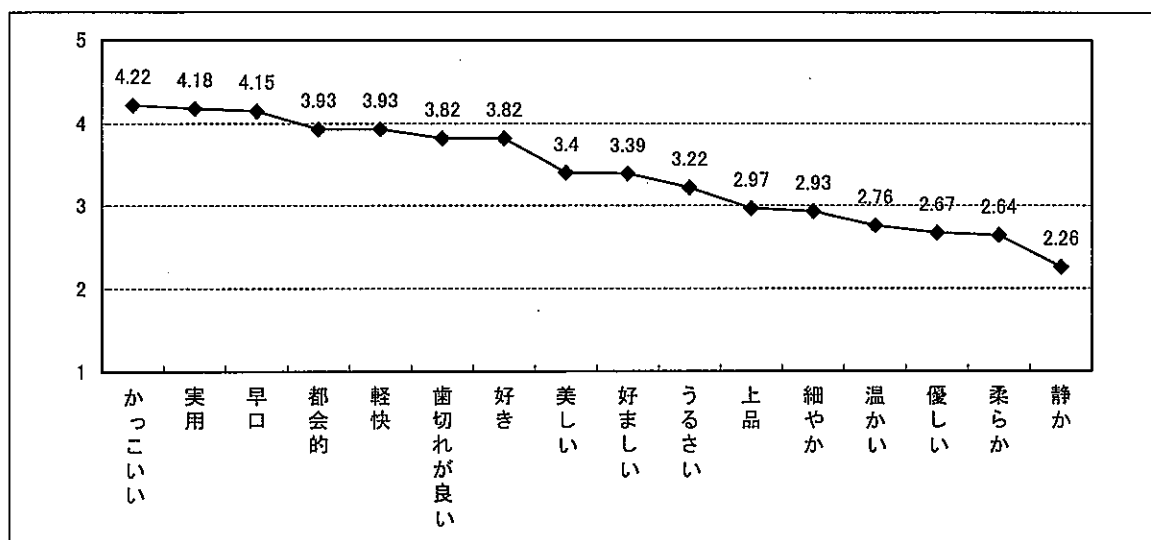
また、「柔らか」「温かい」「優しい」といった情的評価とも言うべき評価項目において高い数値を示していることについても母語に対する感情が影響していると考えるのが自然だろう。

また、「歯切れが良い」において低い評価数値を示していることに関しては、日本語が持つ曖昧性や日本語を話す際の口の開きが余り大きくないこと等を指摘することができる。

日本語に興味があるインフォーマントとそうではないインフォーマントのデータを比較する（付表2参照）と、後者の方が日本語を低く評価する傾向にある。「好き」「柔らか」「温かい」「優しい」「細やか」「美しい」「好ましい」「上品」「実用」「静かに聞こえる」という10項目でプラスの評価数値を示し、「カッコいい」「うるさく聞こえる」「早口」「歯切れが良い」という4項目ではマイナスの評価数値を示すという点は両者に共通している。だが、「都会的」「軽快」という2項目については、前者でプラスとなっているのに対し、後者ではマイナスとなっており、この2項目において両者間に評価の揺れが生じていることになる。

次に男性の評価と女性の評価を比較してみたい（付表2参照）。すると、「好き」「柔らか」「実用」「優しい」「温かい」「細やか」「上品」「好ましい」「静かに聞こえる」「美しい」という10項目でプラスの評価数値を示し、「早口」「歯切れが良い」「うるさく聞こえる」という3項目ではマイナスの評価数値を示すという点は両者に共通している。だが、「カッコいい」「都会的」「軽快」という3項目では、前者ではプラスとなっているのに対し、後者ではマイナスとなっており、この3項目において両者間に評価の揺れが生じているといえる。

図4 英語のイメージ



日本人大学生の心中に存在する英語のステレオタイプの評価は図4のようになり、先に示した日本語のイメージとは全く異なっていることが分かる。

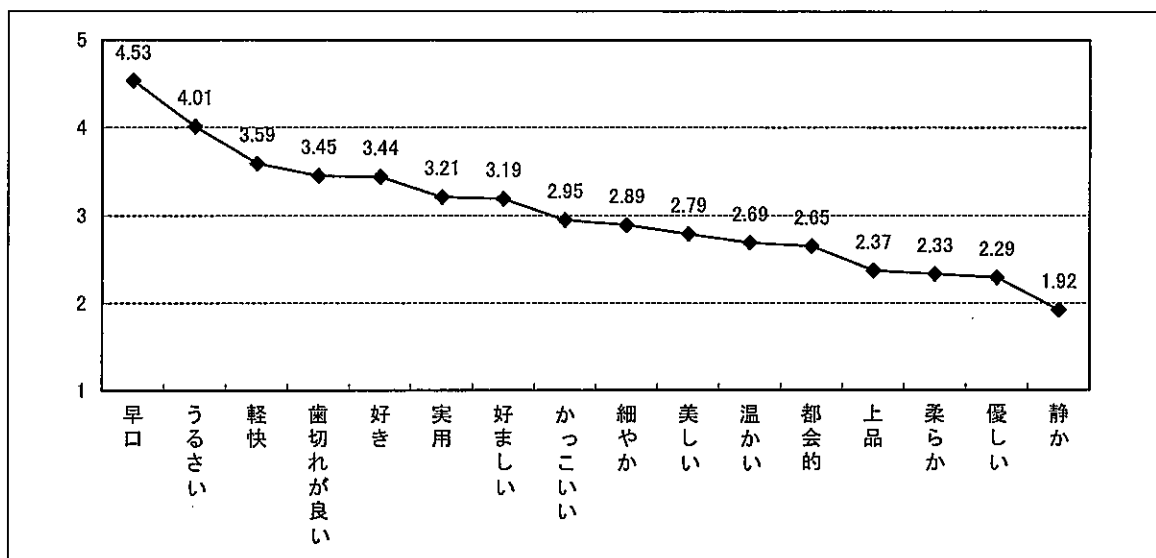
英語は世界共通語としての役割を果たしていることから、「実用」が非常に高い数値を示している。また、日本において、映画や音楽、ファッションに見られる流行は、アメリカやイギリスから来ているものが多く、これらの流行的威信とアメリカが持つ経済的威信に対して日本人が持つ羨望から、英語は「かっこいい」というイメージが強くなったと推測することができる。特に本調査では10代後半から20代前半をインフォーマントとしているために、若者の意識が色濃く反映されていると指摘できる。

英語に興味を持っているインフォーマントと持っていないインフォーマントのデータを比較する（付表2参照）と、後者は全体的に見て前者よりも低い数値を示している。「かっこいい」「実用」「早口」「軽快」「都会的」「歯切れが良い」「うるさく聞こえる」という7項目でプラスの評価数値を示し、「温かい」「優しい」「柔らか」「静かに聞こえる」という4項目ではマイナスの評価数値を示しているという点は両者に共通している。だが、「好き」「好ましい」「美しい」「細やか」「上品」という5項目については、前者でプラスとなっているのに対し、後者ではマイナスとなっており、両

者間に評価の揺れが生じているといえる。

次に、男性の評価と女性の評価を比較してみたい（付表2参照）。すると、前者より後者の方が英語にマイナスイメージを多く抱いていることが分かる。「かっこいい」「実用」「早口」「歯切れが良い」「軽快」「都会的」「好き」「美しい」「うるさく聞こえる」「好ましい」の10項目でプラスの評価数値を示し、「優しい」「柔らか」「温かい」「静かに聞こえる」という4項目ではマイナスの評価数値を示しているという点は両者に共通している。だが、「上品」「細やか」という2項目については、前者でプラスとなっているのに対し、後者ではマイナスとなっており、両者間に評価の揺れが生じている。

図5 中国語のイメージ



日本人大学生の心中に存在する中国語のステレオタイプ的な評価は図5のようになり、これも日本語に対するイメージとは全く異なっている。

「早口」「うるさく聞こえる」といったイメージが高い数値を示し、逆に「静かに聞こえる」「優しい」といったイメージが低くなっていることが分かる。

中国は、北京や上海に代表される沿海都市を除くと、未だに発展途上の地域が多い。また、こうした経済状態や社会情勢については、日本のメディアでも時折取り上げられている。「都会的」というイメージが低くなっ

ているのには、こうした要素の影響を指摘することができる。

「早口」「うるさく聞こえる」「軽快」「歯切れが良い」という評価項目が上位を占め、「都会的」「上品」「柔らか」「優しい」「静かに聞こえる」という評価項目が下位を占めているという点では、後述する韓国語と類似している。

先行研究でも取り上げた泉（1953）によると、東京都民は中国人を以下のように評価している。泉氏が設定した16の言語の内では8番目に好きであり、外見は不潔、民族性は親切で腹が良い、政治的には日本の為になり、日本人を馬鹿にする、経済的には日本の為になる、その文化は低いが日本人にとって親しみやすい。

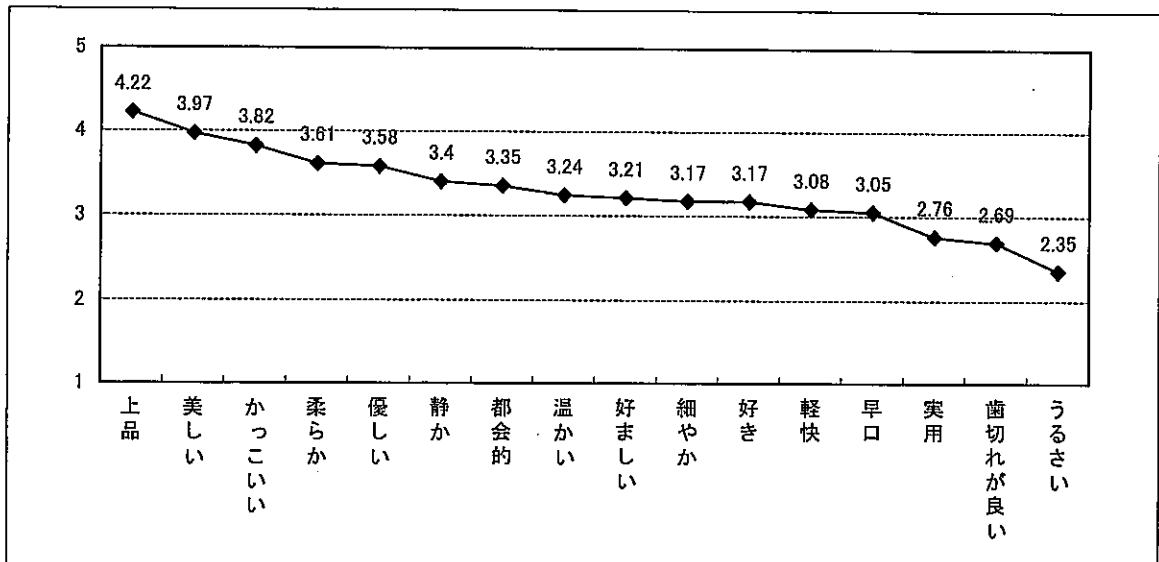
本調査結果において、「歯切れが良い」という評価項目が高い数値を示していることには、上記した東京都民が中国人に対して持つ「腹が良い」—即ち腹黒くはないというイメージと中国語を話す際の口の開きが日本語に比べるとかなり大きいことが影響を及ぼしているのではないだろうか。

中国に興味があるインフォーマントとそうではないインフォーマントのデータを比較する（付表2参照）と、やはり後者の方が中国語を低く評価する傾向にある。「早口」「うるさく聞こえる」「軽快」という3項目でプラスの評価数値を示し、「細やか」「美しい」「温かい」「都会的」「上品」「柔らか」「優しい」「静かに聞こえる」という8項目ではマイナスの評価数値を示しているという点は両者に共通している。だが、「好き」「歯切れが良い」「実用」「好ましい」「かっこいい」という5項目については、前者がプラスとしているのに対し、後者はマイナスとしており、両者間に評価の揺れが生じていることが分かる。

次に男性の評価と女性の評価を比較してみたい（付表2参照）。すると、「早口」「うるさく聞こえる」「軽快」「歯切れが良い」「好き」「実用」「好ましい」という7項目においてプラスの評価数値を示し、「細やか」「かっこいい」「美しい」「温かい」「上品」「都会的」「柔らか」「優しい」「静かに聞こえる」という9項目においてマイナスの評価数値を示している。評価項目の順位に多少の違いがあるものの、男性と女性が中国語に対して抱

くイメージに大きな差はないと考えられる。

図6 フランス語のイメージ



日本人大学生の心中に存在するフランス語に対するステレオタイプの評価は図6のようになる。「好き」「実用」の数値が低く、「かっこいい」「都会的」の数値が高くなっていることを除けば、先に示した日本語に対するイメージと類似しており、「上品」「優しい」「柔らか」「細やか」「静かに聞こえる」「温かい」では、日本人と共に1位或いは2位という高い評価順位となっている。

先行研究でも取り上げた泉（1953）によると、東京都市民はフランス人を以下のように評価している。泉氏が設定した16の言語の中で最も好きであり、外見は立派で清潔、民族性は愛想がよくてけち、政治的には日本を恨んでいない、経済的には日本の為にならない、その文化は高く日本人にとって親しみやすい。

本調査結果において、日本人大学生がフランス語に対して上品で美しくかっこいい言語だと評価していることを鑑みると、日本の大学生はフランス語が持つ文化レベルの高さに羨望感を抱いていることをフランス語がこれほど高い評価を得る要因の1つとして指摘できる。フランス語の母集団であるフランスはテーブルマナーの発祥の地であるとされている。日本でもフランス料理を食べる際には、細かなテーブルマナーがあり、上品で美

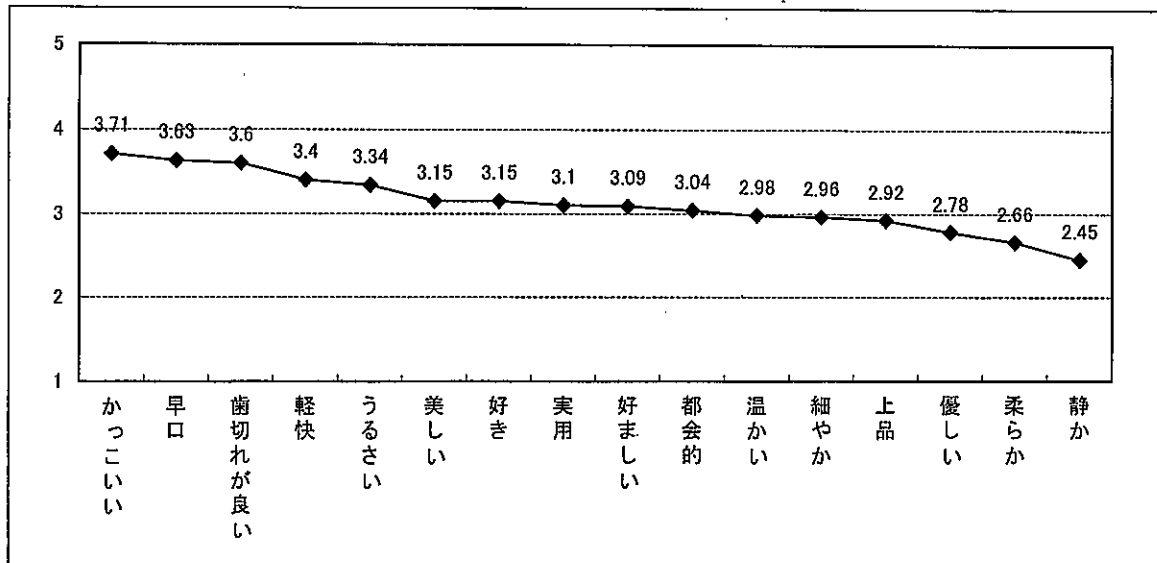
しい食べ方や立ち居振る舞いが要求される。こういった食文化におけるイメージが言語評価にも反映されている可能性も考えられるのではないだろうか。

フランス語は国連の「公用語」であると同時に作業語でもある。更に、ユネスコやEU、万国郵便連合、オリンピックの公用語であるため、一般的に国際語であるというイメージが強いと考えられる。しかし、図6における評価項目の序列を見ると、「実用」は14位とかなり低い評価となっている。

フランス語に興味があるインフォーマントとそうではないインフォーマントのデータを比較する（付表2参照）と、両者間の差はごくわずかなものである。「上品」「美しい」「かっこいい」「優しい」「柔らかか」「好ましい」「都会的」「細やか」「静かに聞こえる」「温かい」「軽快」という11項目でプラスの評価数値を示し、「実用」「歯切れが良い」「うるさく聞こえる」という3項目ではマイナスの評価数値を示すという点は両者に共通している。だが、「好き」という項目について前者はプラスとしているのに対し、後者はマイナスとしている。また「早口」という項目について前者はマイナスとしているのに対し、後者はプラスとしている。つまり、これらの2項目については、フランス語に興味があるか否かで評価に揺れが生じていることになる。

次に男性の評価と女性の評価を比較してみたい（付表2参照）。すると、「上品」「美しい」「かっこいい」「優しい」「静かに聞こえる」「柔らかか」「都会的」「細やか」「温かい」「好ましい」「細やか」「軽快」という12項目でプラスの評価数値を示し、「実用」「うるさく聞こえる」という2項目ではマイナスの評価数値を示しているという点は両者に共通している。だが、「歯切れが良い」という項目について前者はプラスとしているのに対し、後者はマイナスとしており、また、「早口」という項目については前者がマイナスとしているのに対し、後者はプラスとしている。つまり、これらの2項目については、男性と女性の間で評価に揺れが生じていることになる。

図7 スペイン語のイメージ



日本人大学生の心中に存在するスペイン語のステレオタイプの評価は上図のようになる。

日本ではスペインといえばフラメンコや闘牛といったイメージが強いのではないだろうか。フラメンコは、スペイン南部アンダルシア地方のジプシー芸能から発展したギターで伴奏する情熱的な歌と踊りのことを指す。また、闘牛はスペインの国技であり、マタドールと呼ばれる闘牛士が牛と戦う闘技である。スペイン語に対するイメージの上位に位置する「かっこいい」「軽快」というものはこうした文化的背景に起因している可能性を指摘することができる。

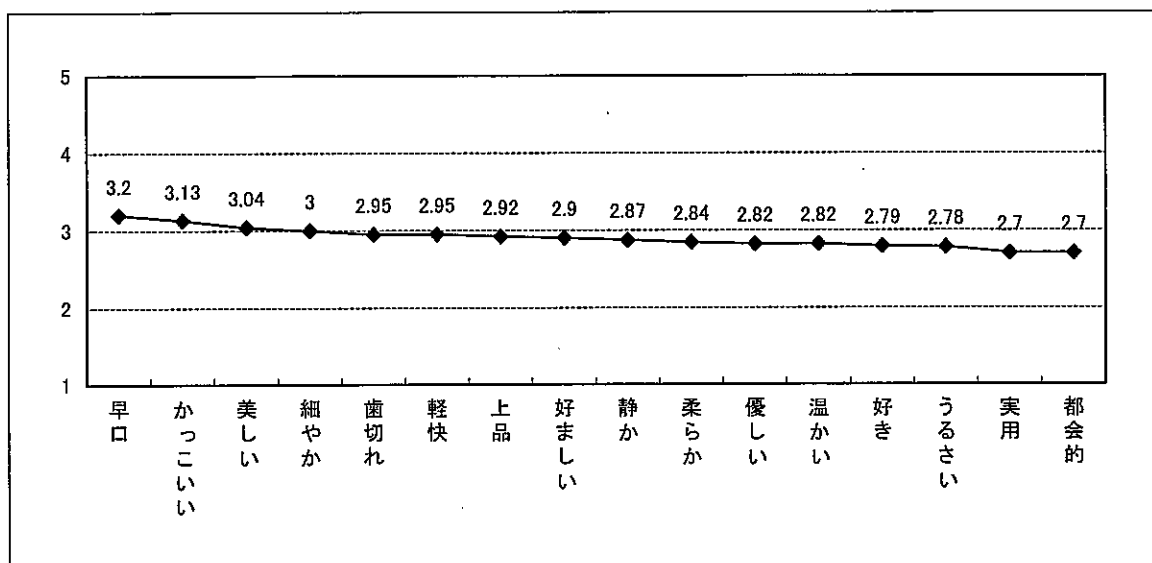
また、スペインは多くの著名な芸術家—例えば、ゴヤ、エル・グレコ、ミロ、ピカソ、ダリ、ガウディ等や、文学家—例えばセルバンテス等を輩出している。図7において「美しい」が6位と比較的高い評価順位を示していることには、この芸術面における高い威信が色濃く反映していると推測できる。

次にスペイン語に興味があるインフォーマントとそうではないインフォーマントのデータを比較してみる（付表2参照）と、両者間には明らかな差が認められる。「かっこいい」「歯切れが良い」「早口」「軽快」「うるさく聞こえる」という5項目でプラスの評価数値を示し、「静かに聞こえる」

という項目ではマイナスの評価数値を示しているという点は両者に共通している。だが、「好き」「美しい」「好ましい」「実用」「上品」「細やか」「都会的」「温かい」「優しい」「柔らかか」という10項目については前者がプラスとしているのに対し、後者はマイナスとしており、両者間に評価の揺れが生じていることが分かる。

更に男性と女性の評価を比較してみたい（付表2参照）。すると、前者より後者の方がスペイン語にマイナスイメージを多く抱いていることが分かる。「かっこいい」「早口」「歯切れが良い」「軽快」「うるさく聞こえる」「美しい」「実用」「好き」「好ましい」という9項目でプラスの評価数値を示し、「柔らかか」「静かに聞こえる」という2項目ではマイナスの評価数値を示しているという点は両者に共通している。だが、「上品」「優しい」「都会的」「温かい」「細やか」という5項目については前者がプラスとしているのに対し、後者はマイナスとしており、両者間に評価の揺れが生じているといえる。

図8 ロシア語のイメージ

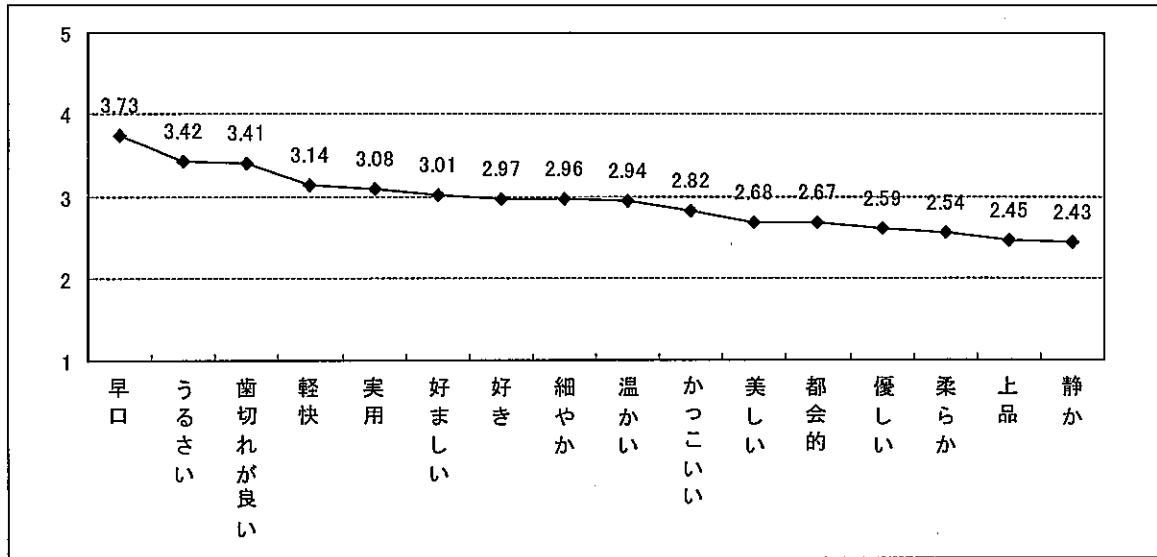


日本人大学生の心中に存在するロシア語のステレオタイプ的な評価は上図のようになる。「早口」「かっこいい」「美しい」といった評価項目が上位を占め、「都会的」「実用」「うるさく聞こえる」「好き」「温かい」という評価項目が下位を占めている。

次に、ロシア語に興味があるインフォーマントとそうではないインフォーマントのデータを比較してみる（付表2参照）と、両者間には明らかな差が認められる。「カッコいい」「早口」という2項目でプラスの評価数値を示し、「都会的」「うるさく聞こえる」という2項目ではマイナスの評価数値を示しているという点は両者に共通している。だが、「美しい」「好き」「上品」「好ましい」「優しい」「細やか」「歯切れが良い」「軽快」「柔らか」「静かに聞こえる」「実用」「温かい」という12項目については前者がプラスとしているのに対し、後者はマイナスとしており、両者間に評価の揺れが生じていることが分かる。

更に男性と女性の評価を比較してみたい（付表2参照）。すると、前者より後者の方がロシア語にマイナスイメージを多く抱いていることが分かる。「カッコいい」「早口」という2項目でプラスの評価数値を示し、「軽快」「柔らか」「好ましい」「優しい」「実用」「うるさく聞こえる」「好き」「温かい」「都会的」という9項目ではマイナスの評価数値を示しているという点は両者に共通している。だが、「歯切れが良い」「美しい」「細やか」「上品」という4項目については、前者がプラスとしているのに対し、後者はマイナスとしている。また、「静かに聞こえる」という項目については、前者がマイナスとしているのに対し、後者はプラスとしている。つまり、この5項目に関しては、両者間に評価の揺れが生じているといえる。

図9 韓国語のイメージ



日本人大学生の心中に存在する韓国語のステレオタイプの評価は上図のようになる。「早口」「うるさく聞こえる」「軽快」「歯切れが良い」という評価項目が上位を占め、「都会的」「上品」「柔らか」「優しい」「静かに聞こえる」という評価項目が下位を占めているという点では、既述した中国語と類似している。

近年、日本で「冬のソナタ」や「宮廷女官チャングムの誓い」といった韓国ドラマが一大ブームを巻き起こしている。これと同時に、これらのドラマに出演している俳優や女優も日本においてかなりの人気を博している。本調査のインフォーマントが18～22歳の大学生であることや、65.1%と女性の方が多勢を占めていること等から、韓国語に対するイメージは、こうした韓流現象の影響を受けているのではないかと推測される。実際、後述する男性と女性の評価の比較では、女性の方が韓国語をより「好き」であり「好ましい」言語であると評価している。

次に韓国語に興味があるインフォーマントとそうではないインフォーマントのデータを比較してみる（付表2参照）と、両者間には明らかな差が認められる。「早口」「歯切れが良い」「軽快」「うるさく聞こえる」という4項目でプラスの評価数値を示し、「美しい」「都会的」「優しい」「柔らか」「上品」「静かに聞こえる」という6項目ではマイナスの評価数値を示して

いるという点は両者に共通している。だが、「好き」「好ましい」「実用」「細やか」「カッコいい」「温かい」という6項目については、前者がプラスとしているのに対し、後者はマイナスとしており、両者間に評価の揺れが生じていることが分かる。

更に男性と女性の評価を比較してみたい（付表2参照）。すると、後者より前者の方が韓国語にマイナスイメージを多く抱いていることが分かる。「早口」「うるさく聞こえる」「歯切れが良い」「実用」「軽快」という5項目でプラスの評価数値を示し、「温かい」「カッコいい」「優しい」「都会的」「美しい」「柔らか」「上品」「静かに聞こえる」という8項目ではマイナスの評価数値を示しているという点は両者に共通している。だが、「細やか」という評価項目については、前者がプラスとしているのに対し、後者はマイナスとしている。また、「好ましい」「好き」という2項目については、前者がマイナスとしているのに対し、後者はプラスとしている。つまり、この3項目については男性と女性の間で評価に揺れが生じていることになる。

4. 結論

- (1) 中国語、韓国語といったアジアの言語に対する評価はほぼ共通しており、これらに対するイメージのステレオタイプは明らかになったと言えよう。「早口」「うるさく聞こえる」「軽快」「歯切れが良い」といった評価語が高い数値を示し、「都会的」「上品」「柔らか」「優しい」「静かに聞こえる」といった評価語は非常に低い数値を示している。
- (2) 日本語はアジア語群に含まれるが、母語であるためか、そのイメージは中国語や韓国語に対するイメージとは全く異なる。
- (3) 興味があるか否かは、その言語を好きか否かに色濃く影響を及ぼす。興味があれば評価項目「好き」の数値はプラスとなり、興味がなければ評価項目「好き」の数値はマイナスとなる傾向にある。但し、インフォーマントの母語である日本語については、日本語に興味のないインフォーマントであっても評価項目「好き」の数値はプラスである。

(4) また、興味の有無は、その言語をうるさいと感じるかどうかに色濃く影響を及ぼす。興味があれば、「うるさく聞こえる」の順位は上がり、興味がなければ「うるさく聞こえる」の順位は下がる傾向にある。

(5) 更に、興味の有無は、その言語を早口だと感じるかどうかに影響を及ぼす。英語、フランス語、スペイン語、ロシア語、韓国語については、興味があれば「早口」の順位或いは数値は上昇し、興味がなければ「早口」の順位或いは数値は下降する傾向にある。但し、日本語と中国語に関しては例外である。

(6) 日本語、英語、スペイン語、ロシア語については、男性よりも女性の方が多くマイナスイメージを抱く傾向にある。

(7) 中国語、フランス語については、男性と女性の間でそれほど大きな違いはない。但し、中国語に対するイメージは男女関わりなく否定的なものが多いのに対し、フランス語に対するイメージは男女ともに肯定的なものが多い。

(8) 韓国語については、男性よりも女性の方が多くプラスイメージを抱く傾向にある。

今回の調査では、中国語学科、英語英文科、国際文化交流学科、現代ビジネス学科の中国語学習者を対象とすることしかできなかった。そのため、神奈川大学生全体の各国言語に対するイメージを反映していると言うことはできない。

最後に、今後は更に調査対象を拡大し、全体的な分析を試みることを課題としたい。

引用文献

大谷泰照 1996 「日本人の言語文化意識」『言語文化研究』 Vol.22,pp.1-25

吉村雅仁 2003 「国際理解教育における英語教育の役割」日本国際理解教育学会『国際理解教育』 Vol.9,pp.42-61

泉靖一 1953 「東京小市民の異民族に対する態度」 日本人文科学会編『社会的緊張の研究』 pp.423-444 東京：有斐閣

付表2

男性																
	上品	優しい	柔らか	歯切れ がいい	細やか	実用	美しい	かっこ いい	好き	都会的	静か	うるさい	温かい	早口	好ましい	軽快
日本語	3.58	3.68	3.88	2.71	3.63	3.81	3.38	3.08	4	3.05	3.39	2.54	3.66	2.9	3.53	3
英語	3.07	2.78	2.76	3.85	3.05	4.07	3.56	4.25	3.66	3.81	2.39	3.27	2.75	4.03	3.27	3.83
中国語	2.63	2.46	2.54	3.32	2.95	3.22	2.71	2.86	3.24	2.63	2.07	3.93	2.68	4.32	3.15	3.53
フランス語	4.19	3.53	3.51	3.02	3.24	2.95	3.92	3.75	3.08	3.37	3.53	2.36	3.24	2.97	3.2	3.2
スペイン語	3.24	3.17	2.95	3.66	3	3.22	3.29	3.72	3.22	3.17	2.6	3.33	3.07	3.71	3.12	3.36
ロシア語	3.05	2.88	2.95	3.12	3.07	2.88	3.12	3.28	2.84	2.74	2.6	2.86	2.78	3.12	2.95	2.98
韓国語	2.6	2.75	2.68	3.33	3.07	3.04	2.7	2.82	2.88	2.75	2.32	3.47	2.86	3.63	2.91	3.02
女性																
	上品	優しい	柔らか	歯切れ がいい	細やか	実用	美しい	かっこ いい	好き	都会的	静か	うるさい	温かい	早口	好ましい	軽快
日本語	3.54	3.65	3.72	2.55	3.61	3.37	3.67	2.72	4.05	2.91	3.46	2.3	3.73	2.62	3.54	2.85
英語	2.92	2.61	2.57	3.8	2.87	4.24	3.31	4.2	3.9	3.99	2.18	3.19	2.76	4.21	3.45	3.98
中国語	2.23	2.2	2.21	3.51	2.85	3.19	2.83	2.98	3.55	2.65	1.83	4.05	2.68	4.64	3.21	3.62
フランス語	4.23	3.61	3.65	2.5	3.13	2.65	3.99	3.85	3.21	3.34	3.33	2.34	3.23	3.08	3.21	3.01
スペイン語	2.75	2.56	2.5	3.56	2.93	3.03	3.07	3.7	3.11	2.96	2.36	3.34	2.92	3.58	3.07	3.42
ロシア語	2.84	2.79	2.78	2.85	2.96	2.59	2.98	3.05	2.76	2.68	3	2.73	2.84	3.23	2.86	2.93
韓国語	2.37	2.5	2.45	3.44	2.9	3.1	2.66	2.81	3.02	2.62	2.48	3.39	2.97	3.77	3.06	3.19
興味ある																
	上品	優しい	柔らか	歯切れ がいい	細やか	実用	美しい	かっこ いい	好き	都会的	静か	うるさい	温かい	早口	好ましい	軽快
日本語	3.58	3.72	3.82	2.69	3.7	3.58	3.63	2.9	4.17	3.01	3.48	2.39	3.74	2.79	3.63	3
英語	3	2.68	2.65	3.86	3.01	4.23	3.48	4.31	4.01	4	2.23	3.23	2.77	4.18	3.49	4.01
中国語	2.4	2.34	2.36	3.51	2.89	3.26	2.86	3.03	3.57	2.68	1.92	3.94	2.72	4.59	3.26	3.63
フランス語	4.47	3.81	3.75	2.81	3.38	2.91	4.34	4.06	3.7	3.53	3.38	2.19	3.38	2.98	3.62	3.21
スペイン語	3.3	3.11	3.04	3.94	3.26	3.49	3.64	4.09	3.94	3.21	2.55	3.3	3.21	3.79	3.6	3.74
ロシア語	3.5	3.42	3.23	3.27	3.38	3	3.62	3.69	3.62	2.69	3.04	2.54	3	3.15	3.46	3.27
韓国語	2.66	2.9	2.79	3.52	3.21	3.36	2.96	3.16	3.58	2.91	2.6	3.22	3.15	3.61	3.42	3.33
興味ない																
	上品	優しい	柔らか	歯切れ がいい	細やか	実用	美しい	かっこ いい	好き	都会的	静か	うるさい	温かい	早口	好ましい	軽快
日本語	3.41	3.38	3.56	2.29	3.38	3.35	3.26	2.71	3.56	2.82	3.29	2.44	3.53	2.44	3.18	2.58
英語	2.65	2.45	2.45	3.5	2.35	3.75	2.75	3.65	2.3	3.45	2.35	3.3	2.55	3.8	2.7	3.25
中国語	1.87	1.73	1.87	2.67	2.8	2.6	2.07	2	2	2.33	1.87	4.53	2.27	4	2.4	3.07
フランス語	4.1	3.46	3.53	2.62	3.05	2.68	3.8	3.73	2.91	3.27	3.41	2.42	3.15	3.05	3.03	3
スペイン語	2.75	2.64	2.5	3.45	2.82	2.93	2.94	3.57	2.83	2.97	2.4	3.37	2.86	3.55	2.89	3.27
ロシア語	2.79	2.71	2.77	2.87	2.91	2.62	2.91	3.03	2.61	2.69	2.82	2.83	2.78	3.18	2.78	2.87
韓国語	2.3	2.35	2.33	3.33	2.77	2.89	2.46	2.57	2.53	2.5	2.3	3.57	2.77	3.79	2.72	3